

「船橋時代」を

日記から読み解く(二)

昭和10(1935)年4月、山中直治の新たな勤務地となった船橋尋常高等小学校には、第二校舎(現在の船橋市立小学校)と第三校舎(現在の船橋市立海神小学校)がありました。

第三校舎は、昭和10年度に完成したそうで、竣工にあわせて同校舎にピアノを購入することになったようです。

当時、ピアノはとても貴重品で、直治の日記には購入に際して細かな記載が残されていますが、今回、直治の記録からどんなピアノを購入したのが判明しました。



第三校舎で購入したピアノと同型の「平台1号」
/写真提供=株河合楽器製作所

購入されたピアノがどんなものであったかは、「定価」が日記に記載されていたことから、「平台1号」と呼ばれる機種であることが分かりました。昭和3(1

氏など行く)昭和10年10月15日「京橋の河合ピアノ店に校長、助役、大崎氏と都合四人にて第三校舎のピアノ購入にゆく。950円の品、800円にて成立」昭和11年3月19日「8時半始業式。9時入学式。ピアノ現品を見に上京(同年4月1日)」「ピアノ第三校舎に入荷する(中略)：俺れもほしくなる。何とかならぬかな」(同年4月4日)。

928)年に発売された「平台1号」は、同2年に設立された「河合楽器研究所」(同4年に河合楽器製作所に改称)が製作したカワイブランドピアノの第一号機で、奥行61センチ、88鍵、象牙鍵盤、漆の塗装といった当時の技術の粋を集めたものでした。

昭和11(1936)年5月1日、第三校舎でピアノ披露音楽会が挙行され「ピアノ曲銀波の曲独奏する。レコードお祭りもかける。9時より12時半まで2回繰り返しわけた」と日記に書いています。「銀波」はワイマン作曲の作品で、「お祭り」は島田芳文の詩に直治が作曲し、レコードになりました。

そして直治自身も、ピアノを購入することになり、「午後3時半、河合楽器店に向う。ピアノ選定のためなり。番号6774」のものと決定したり(昭和11年5月7日「午後5時半ピアノ到着したり」(同年5月13日)と書き残しています。河合楽器(株)では、昭和3年ごろから年間千台前後のピアノを製造していたそうです。

※文中敬称略(次号へ続く)
【取材協力】船橋市立船橋小学校、河合楽器株式会社、株式会社河合楽器製作所

11月の休日当番医

休日当番医での診療時間
 外科・産婦人科 = 9時～22時 (ただし16時～19時は除く)
 内科 = 9時～16時 (19時～22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
3日(水)	キッコマン総合病院(☎7123-5911)	丹保医院(☎7129-3557)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
7日(日)	梅郷整形外科クリニック(☎7125-2011)	小澤医院(☎7122-3980)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)
14日(日)	門倉医院(☎7124-5311)	豊泉医院(☎7129-3813)	小張総合病院(☎7124-6666)
21日(日)	山崎外科内科(☎7122-2359)	石井医院(☎7122-2434)	アイレディースクリニック(☎7137-7661)
23日(火)	西村クリニック(☎7123-0050)	鈴木医院(☎7124-5683)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
28日(日)	しばやま整形外科(☎7120-5355)	野田病院(☎7127-3200)	杉崎クリニック(☎7125-1070)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認してください。


急病センター ☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)
▼歯科診療 = 9時～12時(休日)

◆5月に羽生名人と三浦八段が熱戦を展開した市民会館の「松の間」から庭園を眺めると、立派な紅葉に気がきます。晩秋から初冬にかけて真っ赤に燃えたかと思うと、やがて木枯らしとともに散っていきます▼わが家の庭先でも櫨はの木の葉が、赤くなり始めました。「落ち葉」をこみとして捨てずに、堆肥にし、再利用する取り組みを本号3面で紹介しています▼市民の皆さんの協力で集められた落ち葉や剪定枝などは、農業や化学肥料を極力使わない農業に役立てられています。(わ)


編集後記

市の木




けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり